

通年

森でチャレンジ

小学校4～6年 総合的な学習の時間・特別活動

File G - 2: AAPを通して互いを認め合うプログラム >>>>>>>>>>> 冒険の森で仲良くなる

国立赤城青少年交流の家「山のキャンプ場」(所要時間 2 時間)

【AAPアクティビティ】

(内容)

アイスブレイク/ウォームアップ型アクティビティ

ゲームを楽しみながら、親しい関係を築く。

コミュニケーション型アクティビティ

自分の意見や気持ちを伝える、人の話に耳を傾けるなどの活動。

イニシアティブ型アクティビティ

課題解決を目的として、グループで試行錯誤を繰り返して達成する過程の中で、協力し合う経験を行う。



(ねらい)

AAPを通して互いを認め合うことが出来るようになる。

指導体制：指導者 2 名、指導助手 2 名 に対し **対象人数**：30～35 人

準備：AAP 活動用の器具各種、AAP 器具(ローエレメント)のセッティング、活動場所の事前下見、使用器具のチェック、救急薬品、トランシーバー

留意点：セーフティマニュアルを遵守して指導実施にあたる。
救急薬品の携帯

プログラムの関連性

小学校学習指導要領

特別活動(学級活動) 2 内容

(第5学年及び第6学年)学級を単位として、信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるとともに、日常生活や学習に自主的に取り組もうとする態度の向上に資する活動を行うこと。

(共通事項)

(1) 学級や学校の生活づくり

- ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理
- ウ 学校における多様な集団の生活の向上

(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全

- ア 希望や目標をもって生きる態度の形成
- イ 基本的な生活習慣の形成
- ウ 望ましい人間関係の形成
- エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解
- オ 学校図書館の利用
- カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
- キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

中学校学習指導要領

特別活動(学級活動) 2内容

学級を単位として学級や学校の生活の充実と向上,生徒が当面する諸課題への対応に資する活動を行うこと。

(1) 学級や学校の生活づくり

- ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理
- ウ 学校における多様な集団の生活の向上

(2) 適応と成長及び健康安全

- ア 思春期の不安や悩みとその解決
- イ 自己及び他者の個性の理解と尊重
- ウ 社会の一員としての自覚と責任
- エ 男女相互の理解と協力
- オ 望ましい人間関係の確立
- カ ボランティア活動の意義の理解と参加
- キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
- ク 性的な発達への適応

高等学校学習指導要領

特別活動(ホームルーム活動) 2内容

学校における生徒の基礎的な生活集団として編成したホームルームを単位として,ホームルームや学校の生活の充実と向上,生徒が当面する諸課題への対応に資する活動を行うこと。

(1) ホームルームや学校の生活づくり

- ア ホームルームや学校における生活上の諸問題の解決
- イ ホームルーム内の組織づくりと自主的な活動
- ウ 学校における多様な集団の生活の向上

(2) 適応と成長及び健康安全

- ア 青年期の悩みや課題とその解決
- イ 自己及び他者の個性の理解と尊重
- ウ 社会生活における役割の自覚と自己責任
- エ 男女相互の理解と協力
- オ コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立
- カ ボランティア活動の意義の理解と参画
- キ 国際理解と国際交流
- ク 心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立
- ケ 生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立